



# 神田外語大学報

KUIS CAMPUS INFORMATION

第57号

2021年8月2日(月) 神田外語大学アドミッション&コミュニケーション部発行 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL.(043)273-2826 FAX.(043)273-2988 https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/

## 世界の現実を体感し、世界基準のリベラルアーツを学ぶ

2021年4月、新学部:グローバル・リベラルアーツ(GLA)学部が開設された。グローバル・リベラルアーツ(GLA)学部は世界の平和のために活躍できる人を育てる教育を行う。学生一人ひとりが思い描く「平和」を、グローバルな視点で実現するための力を培うのがGLA学部の役割。そのために、全学生が必修で2回の海外留学体験をするなど、世界の現実を知り、疑問をもち、自ら学び、仮説をたてて検証していく「生涯の学びのサイクル(学び続ける力)」とともに、世界を変えていく力を身につける。

### GLA学部長就任のご挨拶

I have been teaching at Kanda University of International Studies since 1987. I began as a teacher in the English Department. In 2001, when the International Communication Department began, I moved there. In April this year, I became the dean of the newly established Faculty of Global Liberal Arts (GLA).

The purpose of the GLA is to give the students a broad liberal arts education with a particular focus on Humanities, Societies, and Global Studies. The goal is to produce graduates who are prepared to work in a variety of international careers and to help build a more peaceful world. In order to give the students international experiences and to help them understand world issues, there are two kinds of study abroad periods. The first one is a short term study abroad tour in the first semester of first year. The students can choose from one of four destinations: Kaunas, Lithuania; Jerusalem, Israel; Pune, India; and Sarawak, Malaysia. The second study abroad experience is at one of seven campuses of the State University of New York. The students will go there in the second semester of their third year at KUIS.

This year, due to the coronavirus, we are not able to actually travel abroad for the short study tour program. Instead, we will have an online program from our partner schools in the four countries. Each school will provide a week of classes on various aspects of history, culture, religion, and sustainable development. The students will also have time to interact directly with students in each of the four countries. In this way we hope to give the students a sense of the world and the opportunity to communicate with people in different cultures.

### グローバル・リベラルアーツ学部 学部長 Robert De Silva

私は1987年の開学以来、神田外語大学で教鞭を執っています。初めは英米語学科の講師となり、2001年に国際コミュニケーション学科が設置されたときにそちらの所属となりました。そして今年の4月、新しく設立されたグローバル・リベラルアーツ学部(GLA)の学部長に就任いたしました。

GLA学部はHumanities, Societies, Global Studiesに特に焦点を当て、幅広い教養教育を学生に提供するために設置されました。目標は、さまざまな国際的なキャリアで働く準備ができていない学生を育て、より平和な世界の構築を支援することです。GLA学部では学生に国際的な経験をさせ、世界の課題に気づき、考えさせるために、2回の留学を実施します。1回目は1年次前期の海外スタディ・ツアーです。学生はリトアニアのカウナス、エルサレム、インドのプネー、マレーシアのボルネオと4つの目的地から1つを選ぶことができます。2回目は、ニューヨーク州立大学(SUNY)です。GLA学部では今回主にリベラルアーツ教育に力を注いでいる7つのニューヨーク州立大学と国際協定を結びました。学生は3年次後期にそれぞれ特徴のある7つ大学から1つを選んで留学します。

今年は新型コロナウイルスの影響で、海外スタディ・ツアーとして現地を訪れることができません。その代わりに、4つの協定校とのオンラインプログラムを用意しました。それぞれの大学では、1週間歴史、文化、宗教、持続可能な開発などのさまざまなテーマの講義を受けられます。また学生が、現地の学生とオンラインを通じ、直接対話する時間もあります。このような形で、私たちは学生に国際感覚と異文化の人々とコミュニケーションする機会を与えたいと考えています。



### GLA学科長就任のご挨拶

### グローバル・リベラルアーツ学部グローバル・リベラルアーツ学科 学科長 朴シウォン

2021年度グローバル・リベラルアーツ(GLA)学科長を拝命しました朴シウォンと申します。私はアメリカと韓国の大学で教えた後、2005年に本学に着任し、今年度よりGLA学科長に就任しました。専門は、教育評価、学習理論、第二言語習得です。

GLA学部は「平和のために活躍できる人材を育てること」を目的として新設されました。今日、目まぐるしい速さで変化し続ける社会において、高度な思考力をもち、自分とは異なる価値観を尊重する寛容さや協調性を備えた人材が求められています。

GLA学部では、さまざまな分野における知識と高度な英語運用能力を獲得するだけでなく、アクティブラーニングを通じて批判的・創造的思考力を養います。諸外国での二回の研修を通じ、多様性を尊重し、国際社会においてリーダーシップを発揮できる人間になることをめざします。

学科長として、大学、教員および学生間の調和を図り、学修と教育のためのサポート体制を最大限活用することが私の任務だと考えています。さらに学生の学習成果を可視化することによって、学生が自身の成長を確認するとともに、教員が学生の成長を見守りながら適切な指導や教育の改善に繋がれるようにすることも重要です。今後は学科長として、教員と学生の双方が自分の目標を達成できるようサポートしながら、GLA学部がめざす「世界の人々と協調し、平和のためにグローバルに活躍できる人材の育成」に少しでも貢献したいと考えております。



### オンラインを活用した「海外スタディ・ツアー2.0」を実施

GLA学部の海外スタディ・ツアーでは、1年次前期にリトアニア、インド、マレーシア・ボルネオ、エルサレムのいずれかへ3週間留学し、貧困と格差、戦争と平和、宗教と民族といったテーマをもとに、現地の人々とふれあい、話し合い、テーマについて考えて行く。そして、さまざまなバックグラウンドをもつ人々との交流を通して、多様な価値観を感じ、実践を通して世の中で起きていることを知り、自分が進むべき道を見つける機会となる。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外へ行くことが難しい状況にあるため、2021年度の海外スタディ・ツアーは、「海外スタディ・ツアー2.0」とし、4カ国・地域の提携大学とオンラインでつなぎ、講義や学生との交流・討議、バーチャルツアーなど体験プログラムを中心に実施した。日本との時差が大きいリトアニア、エルサレムのプログラムは福島県にある神田外語国際研修センター「ブリティッシュヒルズ」にて、マレーシアとインドのプログラムは大学内にて行った。

本来、各自一つの地域での研修であったものが、「海外スタディ・ツアー2.0」では、4カ国・地域のすべてのプログラムに参加することが可能となり、コロナ禍でも教育の質を落とさず、最大限できることを実施するという観点に立ちプログラムを構築した結果、付加価値が付くものとなった。

日程	6/28(月)~7/2(金)	7/4(日)~7/8(木)	7/12(月)~7/16(金)	7/19(月)~7/23(金)
オンラインプログラム	リトアニア(カウナス) ヴィータウタスマグナス大学	エルサレム ヘブライ大学	インド(プネー) シンハイオシス国際大学	マレーシア(ボルネオ) スウィンバーン工科大学 サラワク校
開催地	ブリティッシュヒルズ(福島県)		神田外語大学キャンパス	

### グローバル・リベラルアーツ学部の新しい学習施設「GLA Commons」が誕生

2021年4月のグローバル・リベラルアーツ(GLA)学部の開設にあわせ、新しい学びのための、新しいコンセプト空間「GLA Commons」が誕生した。GLA Commonsは教育・学びの中心となるエリアとなっており、授業やゼミだけでなく、日常的な居場所となるスペースで、緩やかにゾーニングされた大空間である。



# Kuis News File

※学年は活動時のもの

## オンラインイベント「Join a Trip to Wales: a Country of Wonder」を実施



1月5日(火)～8日(金)の4日間、英国ウェールズ政府の特別協力のもと、オンラインイベント「Join a Trip to Wales: a Country of Wonder」を実施した。

学生が海外への渡航ができない状況下でも、オンラインで学生にウェールズの魅力を学んでもらい、海外を訪れた気分を感じてほしいという思いから企画された。

本学のボランティアセンター客員教授であり、英国ウェールズ政府特使に任命された徳増浩司先生、ウェールズ出身のELI/SALC教員(Joanne Mynard教授、Bethan Kushida主任講師、Huw Davies主任講師、Mike Kettle語学専任講師)、SALC Learning Community「SALC Innovators」が協働し、4日間にわたってウェールズのさまざまな魅力を伝えた。

最終日には英国ウェールズ政府日本代表のロビン・ウォーカー氏も参加され、ウェールズの魅力などについて語ってくださるなど、終始プレゼンターのウェールズ愛と暖かい雰囲気になった空間となった。4日間の内容それぞれにさまざまな工夫が施され、学生から生まれたアイデアではGoogle Earthを使って、本当に旅行をしているような疑似体験ができ、実際に作ったウェルシュケーキのレシピが紹介された。教員の企画では、参加者はウェールズ語を実際に発音しながらビンゴを楽しんだり、ウェールズの代表的な歌を聞いて一緒に歌った。

最終日に実施したクイズの勝者には後日英国ウェールズ政府から提供のウェールズにまつわるグッズが贈られるなど、学びの多い充実した4日間となった。

## 2020年度「マーケティングリサーチ」(オンライン授業)で、「KUISマイボトル」のニーズ調査を実施

2020年度「マーケティングリサーチ」(オンライン授業)にて、「KUISマイボトル」のニーズ調査を行った。「KUISマイボトル」は、SDGsの一環として環境問題に注目した商品開発を行っている株式会社神田外語マネジメント・サービス(KGMS)のオリジナルグッズである。

「KUISマイボトル」の商品化に貢献できる「KUIS生の声」を活かしたマイボトルの企画を提案することを目標に、19名の履修生が4グループに分かれ、オンラインアンケート調査を行い、集計結果を分析した。調査結果をもとにした商品企画案について、1月15日(金)にKGMSに対してプレゼンテーションを行った。

以下、履修生が行った今回の調査についてKGMSからのコメント。

- 学生たちが設定した目標に対して、積極的に調べその結果を分析しようとする強い意欲。また学生の視点からの色々な提案などは、大変参考になった。
- 何よりもグループ間で協力し合い、楽しんで調査・結果分析・提案をされていたのがすごく印象的であった。



調査結果からわかった「飲み口が広い、手入れがしやすい、保冷・保温性のボトル、シンプルなデザイン」など、いくつかの提案を取り入れた「KUISマイボトル」は3号館1階売店(丸善)にて販売中。

## Certificate Program in TESOLが、文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定



Brush up Program for professional

本学の大学院英語学専攻が提供するCertificate Program in TESOL(履修証明プログラム)が、文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)として認定を受け、2021年4月から適用されることとなった。Certificate Program in TESOLプログラム(履修証明プログラム)は、修士号が取得できるMA TESOL Program(学位プログラム)と同様の科目について、修了要件単位数及び必修科目を厳選し、選択科目の幅を広げて提供するもので、主に現職の教員を対象とし、教室での実践や協働学習を重視したカリキュラムに依拠して最新の英語教授法・教育原理を学ぶことにより、高度な専門知識、優れた指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的としている。本プログラムの履修によって、現職教員等については指導的立場の教育者として、非正規の英語講師等については中学校・高等学校、英語学校等での正規雇用をめざして、キャリアアップを図ることが可能となる。

「職業実践力育成プログラム」(BP)は、職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学・大学院等が提供する、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムで、本学のMA TESOL Program(学位プログラム)も「職業実践力育成プログラム」の認定を受けており、2016年4月から適用されている。

### Certificate Program in TESOL(履修証明プログラム)の特徴

本プログラムでは、すべての授業が英語で行われており、かつディスカッションを中心としたInteractive(双方向型)の授業構成となっている。英語教授法の高度な知見をもつ教授陣に加え、海外在住の著名な大学教員や、実務家による授業も選択することが可能である。学校教育法105条に基づく履修証明プログラムであり、4月と9月の年2回入学が可能な1年制のプログラムである。10単位を習得することがプログラムの修了条件となり、さらにTESOLについて学修を深めたい場合は、続けてTESOL学位プログラムへ進学することも可能である。教員として勤務を続けながら学べるように、通学に便利な東京キャンパスで、土曜日、日曜日に開講している。また、科目の一部をオンラインで行うなど、効果的な学修を継続するための工夫を設けている。

## 学生生活の振り返りとキャリアについて考える、全2年生対象「Sophomore Winter Camp 2020」をオンラインで実施

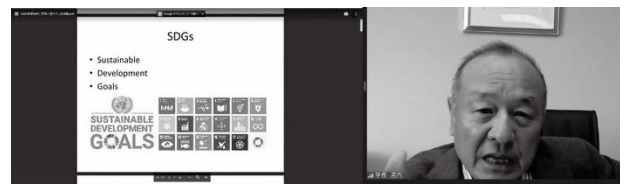


2年生を対象とした、これまでの学修の振り返りやキャリアについて考えるイベント「Sophomore Winter Camp 2020」をオンラインで実施した。これは大学生活の中間点で緊張感が緩みがちなこの時期に、2年間の大学生活や学習を総括し、語学学習へのモチベーション向上を図るとともに、将来のキャリアデザインなど大学生活後半戦の目標を再設定することを目的として、2015年から実施している。

例年、キャンパスや国際研修センター「プリティッシュビルズ」にて実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響や緊急事態宣言の期間延長を受け、2020年度は全日程オンラインで実施した。学生は2月19日(金)、22日(月)～25日(木)の5日間のうち1日を選択して参加することになっており、全日程を通して205名の2年生と28名の先輩学生、セッションを担当する教職員がそれぞれ参加し実施された。

本イベントは対話形式の3つのセッション「学長講話」、「語学セッション」、「キャリアセッション」からなり、1日を通してすべてのプログラムを受講することになる。

プログラムを終えた2年生のアンケートでは「宮内学長や先生方、先輩方から貴重なお話や経験を聞くことができるとも満足できた。これまでの振り返りをする機会がなく、勉強に対するモチベーションが下がっていた時期なので自分のためになった。」「自分が思っていたことを言語化することで気持ちや目標を整理することができた。就職活動への不安もありますが、モチベーションも以前よりも上がったので、とてもいい機会だった。」といった声があった。



## 産学官連携講座 幕張新都心ビジネススクール2020「高校生のためのAI・ITまるわかり講座」開講

企業・大学・行政が連携し、2月14日(日)に千葉市・市原市・四街道市に在住または市内の高校に通学している高校生を対象とした「幕張新都心ビジネススクール2020」を開催した。同スクールは、本学を含む千葉市を中心とした大学や企業、行政の産学官が連携して開催する高校生のためのビジネス講座である。第6回目となる今回は「AI(人工知能)」や「IT(情報技術)」に関する最新情報を高校生へオンラインで届けた。大学やIT企業から講師を招き、身の回りに存在しているAI・ITの技術や未来の社会はどのように変化するのかなど、多くのことを楽しみながら学ぶことができるプログラムとなった。

午前の講義では、放送大学の浅井紀久夫教授が「身近な社会とAI」を開講。身近な日常の中でAIの技術がどう使われているかを紹介しながら、AIと社会とのつながりをわかりやすく解説された。

午後の講義の前半では、ソフトウェア開発やシステムインテグレーション事業を手掛ける株式会社クロスキャットが「IT業界の仕事って?意外と面白そうかも!」と題した講座を開講。ITエンジニアの仕事内容や、システム開発の面白さを「ストーリー形式」で講義された。また、後半では「ITで未来を創る～起業家の挑戦～」と題し、電子回路・プログラムの開発及びエンジニア育成事業を展開する株式会社モノテクノスが講座を開講し、幕張から起業した西尾卓哉氏(同社代表取締役)より、事業内容や体験談を聞きながら高校生たちの身近にある「ITでこんなことできたらいいな」を一緒に考えた。

## 在日パラグアイ共和国大使館より大使ら3名が来校

3月24日(水)、千葉市とアスンシオン市(パラグアイ共和国)が姉妹都市となって50周年を迎え、在日パラグアイ共和国大使館より、ラウル・フロレンティン・アントラ特命全權大使、ミゲル・マルドナド一等書記官・領事および商務観光アシスタントの遠藤真利氏が本学を訪問された。本学からは、イペロアメリカ言語学科の青砥清一教授、磯田沙織講師、内藤慎司国際戦略担当が出迎えた。



会談では、青砥教授より歓迎の挨拶と本学のスペイン語教育における取り組みについて紹介があった。さらに、日本とパラグアイの文化交流の促進、パラグアイの良好な投資環境、人材育成の課題、わが国における継承スペイン語教育などについて、幅広く意見が交わされた。今後はパラグアイの大学と本学の間で協定を結び、学生の交換留学を視野に入れ、学術交流を推進していくことで合意した。その後の学内視察では、特にSALCのコンセプトに興味をもたれ、熱心に質問をされる様子が印象的であった。



学内視察の最後には一行は、山田天音さん(イペロアメリカ言語学科スペイン語専攻2021年3月卒業)による、パラグアイハーブ(アルパ)の演奏を鑑賞された。南米の太陽のような明るい音色と、非常に繊細な演奏に、終始和やかな雰囲気包まれた。



### 「マレーシア英語会話モジュール」公開

本学と東京外国語大学の共同開発による無料インターネット教材「世界の英語モジュール」の第10弾となる「マレーシア英語会話モジュール」を公開した。アジア英語としては、「シンガポール英語」、「インド英語」、「フィリピン英語」に続いて4番目の英語会話モジュールとなる。



マレーシアは、多数派のマレー系、中華系、インド系から成る国である。イギリスから独立し1963年にマレーシア連邦として成立して以来、その言語政策は試行錯誤してきたが、現在ではマレー語のみが「国語」として定められ、英語は準公用語的な役割を担っている。国民の共通語としてはマレー語が優勢であるが、英語は特にビジネスや高等教育の専門分野では共通語として広く使われている。マレーシア英語は、発音、語法、語彙のすべての面においてシンガポール英語に似ているが、マレーシア英語固有の特徴もある。

詳しくはこちら→<http://labo.kuis.ac.jp/module/>

※本モジュールは、日本学術振興会の科学研究費助成事業(基盤研究(B)、課題番号18H00695、研究代表者:矢頭典枝)の補助金を受領して実現している。

### 本学学生が企画・運営、「2021年日本語ディベート国際大会」オンライン開催

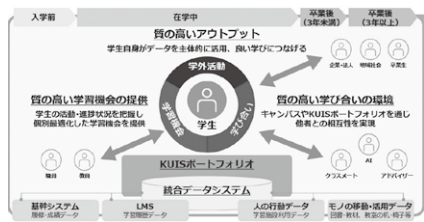
本学の学生が企画・運営として参画した、世界の日本語学習者の大学生と日本人大学生を対象としたディベート大会「2021年日本語ディベート国際大会」が2月27日(土)に開催された。本学の講義「日本語スモールグループ・コミュニケーションD」を履修している学生が、主催団体であるNPO法人全日本ディベート連盟と企画段階から連携し、この度第一回大会が実現した。本学からは選手として4名の学生が出場。韓国からの留学生も加え2チームに分かれ、テーマ「日本は救急車を有料化するべきである」に対し肯定側・否定側の立場で議論をかわした。論理的思考力を深めると同時に留学生との交流を通じて、異文化への理解を深める大会となった。



「日本語スモールグループ・コミュニケーションD」は学期の前半でマーケティング論やイベント事業のPDCAサイクルの回し方などを学び、後半ではプロジェクト実践パートで国際交流企画を立案して実際に運営するという内容で、2020年度前期に開講。履修していた学生から「もっと学びを深めたい」という要望が出たことから、授業を担当する久保健治非常勤講師が専務理事を務めるNPO法人全日本ディベート連盟と約半年にわたり連携。この度の日本語ディベート国際大会がオンラインで開催される運びとなった。また、久保講師は「日本語ディベート」の講義も担当しており、履修していた学生の中から4名が本大会に選手として出場した。

### セールスフォース・ドットCOMのEducation Cloudを国内私立大学として初採用、デロイト・トーマツが導入を支援～学生情報の統合と学びの可視化を同時に実現～

本学は株式会社セールスフォース・ドットCOMの大学向けソリューション「Education Cloud」を国内私立大学として初めて採用した。国内では2例目となる(1校目は東京大学)。これを基に、デロイト・トーマツコンサルティング合同会社と連携して、本学独自の学習システム「KUISポートフォリオ」を開発・導入し、4月より運用を開始している。「KUISポートフォリオ」は、学生の履修・学習履歴データや成績データと連動し、自身の学修状況が可視化できるクラウドシステムである。大学での学びのデータを一本化することで、学習者のあらゆる学修状況が可視化されるのはもちろん、目標管理や学習毎の振り返りを記録することで、学習を通じたところの変容や自身の考え方の特徴



を明確に把握し、次なる学びへ繋げることができる。本学では授業のみならず、ボランティアやインターン、留学、休暇中の経験など、学内外のあらゆる活動を学びの機会として捉え、学生自身がデータを積極活用することにより、より質の高い学習に活かし、卒業後も生涯にわたって学び続けることができる自立学習者の育成に寄与する。

### 公学連携活動としてイオン環境財団の「苗木の里親プロジェクト」へ参画



本学は公益財団法人イオン環境財団と公学連携活動として、同財団がSDGsの一環として新たに取り組んでいる植樹活動、「苗木の里親プロジェクト」に参画した。本プロジェクトは、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、植樹地に向かわずに森づくりに参画できる活動として実施される。これまで森づくりにともに取り組んできた地域ボランティアが、同財団から苗木を預かり、自宅や学校等で約1年間育て、その苗木をイオンの森に植樹する。病虫害や台風、津波などの災害に強い防災林再生のため、本学はクロマツやマサキ、トベラなどの苗木を計50本預かった。大学構内にある「KUIS ガーデン」にて苗木を育てており、約1年後に千葉県山武市九十九里浜にて植樹を予定している。

### 「KUISグローバルアンバサダー」第一期生報告会・修了式を開催

2月1日(月)、「KUISグローバルアンバサダー」第一期生報告会・修了式をオンラインにて開催した。KUISグローバルアンバサダーは、海外協定校との国際交流、学内国際交流イベント、海外留学に関する情報発信などを、学生が主体となって企画・運営していく活動である。2020年9月からスタートした第一期生はコロナ禍でオンラインのみの活動となったが、立ち上げから携わった1～4年生49名が5グループに分かれ各々の企画を実施した。

報告会は学生による司会で進行し、各グループの活動報告ののち、活発な質疑応答が行われた。また、コロナ禍のためオンラインでしか顔を合わせたことがないメンバーと協力体制を築いていく難しさ、実際に運営してみて初めて起こるイレギュラーな問題に柔軟に対応する難しさ、改善のために行った工夫についても語られた。

最後に、KUISグローバルアンバサダー活動のさらなるステップアップのための課題や今後の抱



負も述べられ、来期に繋がる報告会となった。当日オンラインで出席した宮内学長からは、各グループの発表内容へのフィードバックに続き、「情報過多な現代において、どのようにして訴求力のある情報を発信するかが今後の課題である」とのメッセージがあった。

### 第93回外務省在外公館派遣員試験において神田外語グループから11名が合格

第93回外務省在外公館派遣員試験において、神田外語グループから11名が合格した。本グループでは2009年から久保谷富美男先生が外務省在外公館派遣員試験に向けた教育を行い、これまで76カ国190名の学生・卒業生が試験に合格している。また、外務省職員として41名の卒業生が本省や海外の公館で活躍している。これからも本グループはグローバル社会における語学力とコミュニケーション能力を涵養するとともに、国際社会に貢献しうる人材を輩出していく。

- |   |  |
|---|--|
| 若松 佳那 (英米語学科4年)<br>派遣先 在チェンナイ日本国総領事館    | 渡部 真生子 (国際コミュニケーション専攻2年)<br>派遣先 在シムリアップ日本国総領事館         |
| 広瀬 満莉乃 (英米語学科4年)<br>派遣先 在フィリピン日本国大使館    | 太田 彩華 (中国語専攻2019年卒)<br>派遣先 在青島日本国総領事館                  |
| 永井 美穂 (英米語学科4年)<br>派遣先 在マラウイ日本国大使館      | 梶原 萌音 (ベトナム語専攻3年)<br>派遣先 在ベトナム日本国大使館                   |
| 本郷 素直 (英米語学科4年)<br>派遣先 在アメリカ合衆国日本国大使館   | 永尾 智美 (国際コミュニケーション専攻4年)<br>派遣先 在カンボジア日本国大使館            |
| 船山 菜々 (英米語学科4年)<br>派遣先 在デンバー日本国大使館      | 藤木 菜緒<br>(神田外語学院グローバルコミュニケーション学科2年)<br>派遣先 在ブルネイ日本国大使館 |
| 田中 詩乃 (英米語学科2020年卒)<br>派遣先 在ハガツヤ日本国総領事館 |  |

### 石井 雅章教授が株式会社QVCジャパンにてオンライン講演会を実施～アースデイ記念特別講演&ワークショップ「持続可能な世界に向けて、小売業が果たす役割とは？」～



国際的な地球の日「アースデイ」の4月22日(木)、石井 雅章教授が株式会社QVCジャパンの主催する社内講演会に招かれ、同社の社員を対象に「持続可能な世界に向けて、小売業が果たす役割とは？」と題したオンライン講演を行った。

QVCはテレビショッピングを中心としたマルチメディア通販企業である。SDGsは企業にとって単なる環境対策や地域貢献活動だけではなく、今後のビジ

ネス、本業とは切り離して考えられない視点である。QVCは、未来を彩るサステナブル(持続可能)なショッピングを実現するために、従業員一人ひとりが当事者意識をもって行動できるよう、今回の特別講演会を開催することとなった。新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となったが、各部署からおよそ80名の参加があった。

石井教授はアースデイに因んで、QVCのCR(Corporate Responsibility)活動をふまえ、海洋プラスチック問題の現状や今後の展望、環境問題に取り組むうえでの小売業の役割などについて、質疑応答も含め60分間講演された。講演の中では、これまで誰も成し遂げることがない持続可能な世界を実現するには、世代や立場は関係なく一緒に学び合うことができるかどうかがとても大切であり、企業や消費者が一緒になって考えながら、持続可能な消費と生産の仕組みを実践していく必要がある、と語った。また、講演後にはQVCが環境問題へ取り組むコミットメントとして、同社CEOのグレゴリー・ベルトニー氏がエンタランスに桜の木を植える植樹式が開催され、石井教授も出席された。同氏との記念撮影も行い、今後より一層産学連携を深めていくための関係を構築する機会となった。

# 弁論大会・スピーチコンテスト

※学年は受賞時のもの

## 「第9回全国英語プレゼンテーションコンテスト」 学内表彰式を開催

2020年11月28日に開催された、神田外語グループ主催「第9回全国英語プレゼンテーションコンテスト」にて、本学から出場し全国上位50位(Top50賞)に入賞した2組4名の学生のオンライン学内表彰式を行った。表彰式では二次予選通過、Top50賞表彰のほか、2組から受賞したプレゼンテーションが披露された。トランさんと徐さんのペアは、化学実験や歴史上のイベントの追体験などを例に、VRを使った実験や実習を通して対面方式よりも高い学習効果の得られる教育手法を提案した。国内のベンチャーと協力することで費用を抑えることが期待できるほか、コロナ禍にある今だからこそ、これまでの教育手法を見直す大きなチャンスにあることを強調した。プレゼンテーションコンテストに参加する学生の指導に関わるSamuel Morris語学専任講師は、「論点がよく整理されていてわかりやすいプレゼンテーションでした。新しいアイデアのポジティブな面だけではなく、想定される課題についてもよく議論されていて素晴らしいです。是非、次回コンテストにもチャレンジして本選進出することを期待しています。」と評価した。

### ■Top50入賞者

トラン トゥ アンさん (国際コミュニケーション専攻2年)  
徐 銘晨さん (イペロアメリカ言語学科スペイン語専攻1年)  
野村 菜佑さん (国際コミュニケーション専攻3年)  
上野山 智香さん (国際コミュニケーション専攻3年)



## 全国大会で優勝!「第38回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会」

1月10日(日)に「第38回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会」の各部門において、本学の学生2名と卒業生1名が優勝や入賞するなど、優秀な成績をおさめたことが発表された。この3名は千葉県大会のそれぞれの部門で優勝し、全国大会への推薦権を獲得。その後、音源審査を経て全国大会への出場が決定した。しかし、全国大会は新型コロナウイルス感染防止のため会場では開催せず、全国大会参加者の音源を再審査することとなった。

### ■受賞者

#### 【大学生スピーチ部門】

1位・優勝 岩佐菜々子 (4年)  
日中友好協会会長賞・外務大臣賞・中日友好協会賞

#### 【大学生朗読部門】

優秀賞 米田海音 (1年)

#### 【一般スピーチ部門】

3位 池田真也 (中国語専攻2016年卒)  
人民中国雑誌社賞



## 「全国学生韓国語スピーチコンテスト」で最優秀賞を受賞



### ■受賞者

最優秀賞 宮崎 梨奈  
(国際コミュニケーション専攻3年)

2020年12月5日(土)、駐日韓国大使館韓国文化院ハンマダンホールにて「話してみよう韓国語」、「全国学生韓国語スピーチコンテスト」が無観客形式で開催された。

この大会は駐日韓国大使館韓国文化院と本学が主催するもので、「話してみよう韓国語」(=スキット部門)、「全国学生韓国語スピーチコンテスト」(=スピーチ部門)の二部門により構成されている。今回、スピーチ部門に国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻3年の宮崎梨奈さんが出場し、最優秀賞を受賞した。

# 卒業生アンケート2020

卒業生の意見を今後の大学運営に活かすため、2018年度より実施している卒業生を対象としたアンケート(試行調査)を2020年度も実施した。設問や選択肢は、本学が加盟するIRコンソーシアム(全国59の国公立大学が加盟)の共通項目と本学独自項目を設問として設定。回答者からは授業や学生生活の高い満足度と母校の発展に期待する声が寄せられた。

実施期間: 2020年12月~2021年2月

告知方法: 卒業生Facebook/教職員を通じた依頼/  
キャリア教育センターを通じた卒業生就職企業への依頼

実施方法: Googleフォームを使用したWebアンケート

回答所要時間: 約10分 対象者: 卒業生 有効回答数: 209件

### (1)【大学入学時と大学生生活】

- ①入学試験形態 ②志望順位 ③授業科目・課外活動の熱心度
- ④身についた能力 ⑤海外渡航歴 ⑥教育・研究・大学生生活の満足度

### (2)【卒業後の大学とのつながり】

### (3)【就職状況】

- ①初職の業種・就業形態 ②初職の志望・選択理由 ③現職の職種・職階・年収等
- ④キャリアパスの満足度 ⑤海外勤務経験

### (4)【社会で求められる能力】(1)④と共通

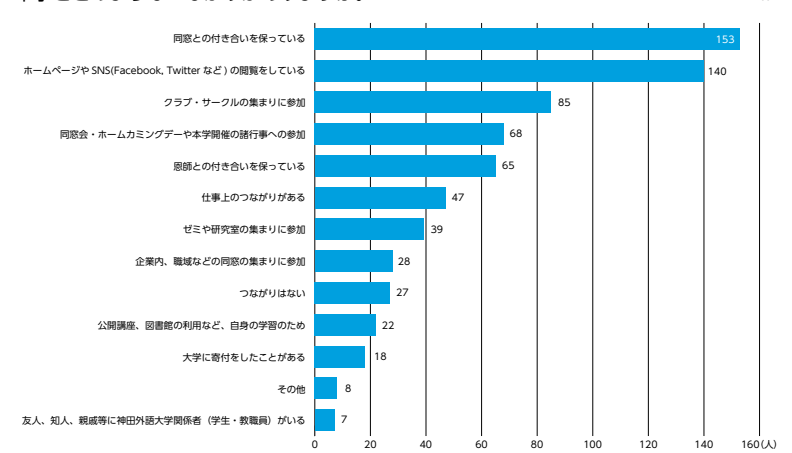
### (5)【回答者属性】

- ①卒業学科・専攻 ②性別 ③高校卒業時・現在の居住地 ④現在の学習時間/週

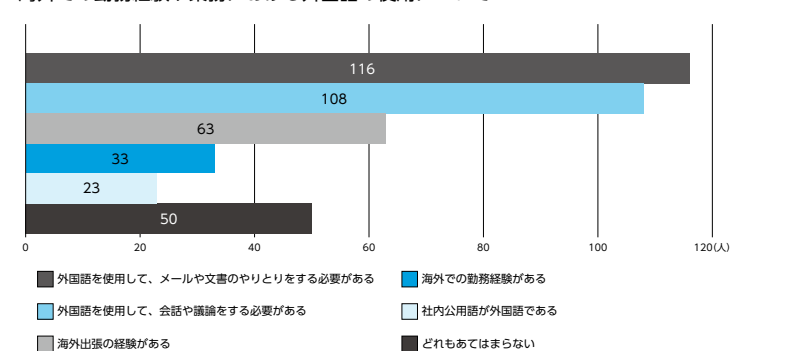
### (6)【将来の学び】

### 〈アンケート結果一部掲載〉

本学とどのようなつながりがありますか。

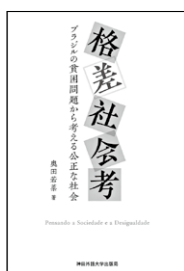


海外での勤務経験や業務における外国語の使用について



## 必読! KUIS教員執筆の一冊

### 「格差社会考 —ブラジルの貧困問題から考える公正な社会」刊行



奥田若菜准教授(イペロアメリカ言語学科ブラジル・ポルトガル語専攻)の著書が神田外語大学出版局より刊行された。格差社会を是正し公平な社会を実現することは、世界各国の喫緊の課題であり、決して日本も例外ではない。貧困問題を解決し、人種やジェンダーなどの差別を解消するにはどうしたらよいか。最も格差が著しい国の一つであるブラジルでの調査から、格差社会に共通する問題点をあぶり出し、私たち一人ひとりがその解決に向けて、何をどう考えるべきかをわかりやすく解き明かしてゆく。

著者: 奥田 若菜 判型: 四六判 定価: 本体1,200円 + 税  
発行: 神田外語大学出版局 項数: 182項 ISBN: 978-4-8315-3014-1

### 町田明広准教授共著『新説の日本史』が刊行 —最新研究をもとに日本史の通説に挑む

本学の町田明広准教授を含む歴史研究者6名が共著した『新説の日本史』が2月6日(土)に刊行された。本書では古代・中世・近世・近現代のそれぞれの時代における日本史の通説に対し、気鋭の歴史研究者たちが最新の知見をもとに切り込んでいく。町田准教授は「第五章 幕末」を担当し、薩摩藩と長州藩における「薩長同盟」や一般的に不平等条約といわれる「日米修好通商条約」の見方を変える新説をわかりやすく論じている。研究者たちによる教科書を書き換えるかもしれない新説で、我々が学んだ日本史の見方がアップデートされる一冊となっている。



著者: 町田明広、亀田俊和、河内春人、矢部健太郎、高尾善希、舟橋正真 発行: SBクリエイティブ株式会社 定価: 本体900円 + 税  
項数: 248頁 ISBN: 978-4-8156-0905-4

## 浜風祭、ホームカミングデー開催について

2021年度「第35回浜風祭」は10月23日(土)・24日(日)に開催します。また、「第16回ホームカミングデー」は2021年度内にオンラインでの開催を検討しています。詳細は神田外語大学同窓会ホームページ・Facebook・Twitter・Instagramをご確認ください。

<https://kandagaigo.ac.jp/kuis/alumni/>



## ●●●● 大学院からのお知らせ ●●●●

本学大学院言語科学研究科は、東京キャンパスに英語学専攻MA TESOLプログラム(修士課程)を置き、千葉幕張キャンパスに日本語学専攻 日本語学コース/日本語教育学コース(修士課程)と言語科学専攻(博士課程)を置いています。それぞれのキャンパスで、大学院説明会、講演会、入学試験を実施しています。新学習指導要領で求められる授業力を育成する、1年制の「TESOL履修証明プログラム」(非学位プログラム)が2020年4月から新規にスタートしました。

専攻	期	出願期間	試験日
英語学専攻 [東京]	2022年4月期入学	出願期間 2021年12月6日(月)~2022年1月7日(金)	試験日 2022年1月23日(日)
	日本語学専攻 [千葉]	I期	出願期間 2021年9月15日(水)~2021年9月29日(水) 試験日 2021年10月16日(土)
		II期	出願期間 2021年12月8日(水)~2022年1月5日(水) 試験日 2022年1月22日(土)
	III期	出願期間 2022年2月7日(月)~2月14日(月) 試験日 2022年2月25日(金)	

■大学院言語科学研究科 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/grad/>  
■お問い合わせ 神田外語大学 言語科学研究科 Email: infograd@ml.kuis.ac.jp  
英語学専攻 TEL:03-3254-3586(月~木 11:00~18:00) 日本語学専攻 TEL:043-273-1320(月~金 9:30~17:30)

# 神田外語大学ボランティアセンター活動報告

2013年に設立されたボランティアセンターは今年度で9年目を迎える。昨年度はコロナ禍によりボランティア活動の機会が大幅に減少し、参加者数は延べ46名と、昨年度の人数の1割未満となったが、実際のボランティア活動が制限されたことで、将来のボランティア活動への意欲につながるようなセミナーをオンラインで行うなど、新たな試みが生み出された年にもなった。長引く自粛要請で活動は制限されているが、今年度も引き続き、オンラインを活用して社会貢献について学べる機会を可能な限り多く創出しつつ、学習支援系のボランティアなど、コロナ禍でも止まらず行われているボランティアを中心に案内し、サポートしていく。

## 2020年度ボランティア参加証授与式・報告会

1月20日(水)、2020年度ボランティア参加証授与式・報告会を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初めてオンラインにて開催した。コロナ禍でさまざまなイベントが延期や中止となり、ボランティア活動は大きく制限された。そのような状況にあっても、大学が紹介するボランティアを、感染拡大防止対策を遵守しながら行った学生を対象に、感謝と激励の気持ちを込めた表彰式を行った。報告会では、特に活躍した3名が代表として、ボランティアに参加したきっかけやボランティアを通して学んだことなど、これまでの活動と抱負を合わせて発表した。ボランティア活動を通して学生が何を感じ、何を学び、どう活かしていきたいと感じたのかを聞くことで、学生の成長を垣間見れた機会ともなった。



## 2020年度 ボランティア活動実績

ボランティア名	日程	人数
エアロビック協会Suzuki World Cup 通訳ボランティア	4/18(土)、19(日)	1
「千葉市成人を祝う会」運営協議会委員	9/23(水)、10/30(金)、 11/16(月)、12/3(木)	2
千葉市教育委員会小中学校ボランティア	10月～2021年3月	4
「英語で楽しむ親子おはなし会」 読み聞かせボランティア	10/24(土)、11/7(土)	4
2020年度 千葉日本大学第一中学校 英語学習サポーター(後期)	10/30(金)～ 2021年2月	2
幕張総合高等学校 中国語学習サポーター	11月～ 2021年3月2日(火)	1
アスポーツ学習支援ボランティア	11月～2021年3月	1
幕張BAY-PARK Christmas Night 運営補助ボランティア	11/28(土)、12/5(土)、 12(土)、19(土)	16
中央区観光協会 外国語観光通訳ボランティア	年間	6
船橋市教育委員会 学習サポーター(小学校)	年間	4
NPO法人学校支援さざんかの会 ふれあい「夢のふなっ子」学生ボランティア	前期・後期	5

## 千葉県立幕張総合高等学校で学習サポーターとして学習支援活動を実施

本学アジア言語学科中国語専攻4年(2020年度当時) 溝田海来(みぞた みく)さんが本学で学んだ中国語を活かし、千葉県立幕張総合高等学校にて、外国人特別選抜で入学した中国語話者の生徒の個別学習サポートを行った。千葉県学習サポーターは千葉県教育委員会が募集しているもので、学校教育活動の一環として行われる授業・放課後等における生徒への学習支援や家庭学習の充実に向けた支援を行うもの。応募資格や勤務条件により学習サポーターAとBの2種類に分かれており、溝田さんは学習サポーターBとして活動した。

### 溝田海来さんコメント

大学3年生の時に1年間中国に留学をしていたので、コロナ禍ではありますが、その経験を活かせることがないかと思っていたのと、塾講師のアルバイト経験もあったので、今回、中国人の生徒を対象とした学習サポートがあると聞いて参加をしました。

業務としては、一日を通して日本語面でわからないことがある生徒の授業理解度を高められるよう、日本語の意味を中国語や日本語を使って教えるといった内容でした。特に生徒は国語の授業に苦労していたようなので、主に国語のサポートを担当しました。中国語を話す生徒なので、もちろん中国語でも説明はできるのですが、それは生徒本人のためにならないと思い、できる限り日本語を使って教えました。しかし、私自身も日本語を日本語で説明するということがあった以上、難しく、日本語の辞書を使いながらサポートをしました。サポートをしたことで模試やテストの点数が上がって目に見える成果として出たこと、そして、成績が上がったことで生徒自身の勉強へのモチベーションにも繋がり、やってよかったなと感じています。

国や文化が違うことが前提としてあり、その前提と生徒自身をしっかり理解しながら、生徒に合わせた教え方や日本語の伝え方を意識したので、相手を理解しながら、どう伝えるべきかという力を養うことができたと思います。学生生活が終わる前にこういったことで貢献できたのは、非常に良かったです。

### (参考)各学習サポーターの応募資格、勤務条件(一部抜粋)

#### ◆学習サポーターA

- ・市町村立小・中・義務教育学校での勤務となり、単独で授業を行う
- ・対象学校種の教員免許状を持っていることが条件
- ・週25時間以内の勤務となる ほか

#### ◆学習サポーターB

- ・県立中・高等学校及び市町村立小・中・義務教育学校での勤務となり、学習支援を担任と一緒にするため、単独での授業は行わない
- ・教員免許状の有無は問わない
- ・週15時間以内の勤務となる



## 「JICAボランティアセミナー～活躍する卒業生隊員たち～」をオンラインで実施

5月13日(木)・14(金)の屋休み、JICA海外協力隊を経験し、現在JICA東京で勤務されている本学卒業生による「JICAボランティアセミナー～活躍する卒業生隊員たち～」をオンラインで実施した。登壇者の二人からは、大学時代どのように過ごしていたかという在学学生にとって身近な話題から始まり、その頃からの経験の積み重ねにより、JICA海外協力隊での活動や現在の仕事につながっていることが語られた。現地での活動の様子も写真や動画を交えてわかりやすい説明があり、チャットを活用して在学学生からの多くの質問にも回答をいただいた。また、今年度の海外協力隊募集の概要についての説明や国際協力に関する情報の探し方なども教えていただいた。実施後のアンケートでは、「JICA海外協力隊にはさまざまな職種や活動があることを知ることができた」「自分も海外協力隊に挑戦してみたい」など、活躍する先輩たちの話を聞いて視野が広がり、在学学生にとって大学生活や将来に向けてのモチベーションアップにつながる機会となったことがうかがえた。



## 神田外語大学の「教育力」の高さを証明

英国の新聞社タイムズの教育専門誌「THE(Times Higher Education)」がベネッセグループとのパートナーシップに基づいて作成した「THE世界大学ランキング 日本版2021」に於いて、本学は総合で41位、私立大学の中では10位にランクインした。このランキングは、これまで見えにくかった日本の大学における「教育力」に焦点を当て、学生の学びの質や成長性に注目し、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野16項目を指標として作成されている。分野別ランキングでは、「教育充実度」が13位、「国際性」が22位という結果となった。

### THE 世界大学ランキング -日本版2021-



### 一分野-教育充実度



#### 教育充実度とは

学生調査「教員・学生の交流、協働学習の機会」「授業・指導の充実度」「大学の推奨度」と、高等学校の進路指導教員の評判調査「グローバル人材育成の重視」「入学後の能力伸長」を集計。どれだけ教育への期待が実現されているかを表したものの。

私立大学順位	総合順位	大学名
1	11	国際基督教大学
2	12	慶應義塾大学
3	13	早稲田大学
4	18	上智大学
5	22	立命館アジア太平洋大学
6	30	立命館大学
8	32	芝浦工業大学
9	39	東京理科大学
10	41	明治大学
11	43	同志社大学
12	44	立教大学
13	45	豊田工業大学
14	47	学習院大学
15	48	関西学院大学

### 分野別ランキング 教育充実度 TOP15


順位	大学名	設置区分	教育充実度
1	国際教養大学	公立	92.5
2	国際基督教大学	私立	91.3
3	立命館アジア太平洋大学	私立	86.4
4	筑波大学	国立	84.6
5	東京工業大学	国立	83.9
6	東京外国語大学	国立	83.2
7	北海道大学	国立	82.7
8	東北大学	国立	82.4
9	津田塾大学	私立	82.3
10	名古屋大学	国立	82.1
10	上智大学	私立	82.1
12	東京理科大学	私立	82.0
13	神田外語大学	私立	81.9
14	九州大学	国立	81.8
15	明治大学	私立	81.6



# 神田外語大学教員人事 新規任用(4月1日付)


①所属 ②出身 ③コメント

**大宅 利美**  
(おおや りみ)



①外国語学部  
アジア言語学科中国語専攻  
②日本  
③大学は食べ放題のレストランのようなもの。限られた時間内で、できるだけたくさん栄養を吸収しましょう!

**申知元**  
(シン ジウォン)



①外国語学部  
アジア言語学科韓国語専攻  
②韓国  
③言語を学ぶことで文化を学び、文化を学ぶことで言語を学ぶことができます。一緒に韓国語・韓国文化を楽しく勉強しましょう!

**Ignacio Pedrosa García**  
(イグナシオ ペドロサ ガルシア)




①外国語学部イベロアメリカ言語学科  
スペイン語専攻 ②Spain  
③It is absolutely important to develop the ability to understand and accept things "foreign," through the mastering of the native languages of peoples living in a variety of regions since languages are intimately linked to their cultures.

**Jeffrey James Hall**  
(ジェフリー ジェイムズ ホール)




①外国語学部国際コミュニケーション学科  
国際コミュニケーション専攻  
②USA ③Hello students! I am looking forward to interacting with you in my courses, which are a part of the KUIS Certificate Program in Japan Studies!

**高橋 麻奈**  
(たかはし まな)




①グローバル・リベラルアーツ学部  
グローバル・リベラルアーツ学科  
②日本  
③この世界をステキにする方法とは何か、世界に笑顔がもたらされるには何が必要か、一緒に学び・考え・追求していきましょう!

**吉田 晴美**  
(よしだ はるみ)




①キャリア教育センター  
②日本  
③わたしは、外資系CAから金融業界を経て大学教員になりました。あなたが輝く場所を、一緒に見つけましょう!

**近藤 秀樹**  
(こんどう ひでき)



①言語メディア教育研究センター  
②日本  
③さまざまな境界が溶け合う時代がやってきます。自分で自分を決めつけず、自らの行動をつないでいきましょう。

**井芹 俊太郎**  
(いせり しゅんたろう)




①言語メディア教育研究センター  
②日本  
③①よく学びよく遊ぶ、②失敗を恐れず新しいことに挑戦する、③積極的に「越境」する、この3つで大学生生活を充実させましょう!

**Allen Ying**  
(アレン イング)



①ELI ②Hong Kong (Australian Nationality)  
③I was a non-native English speaker when I first arrived in Australia as a child. I only became fluent through constant English use everywhere I went except home.

**Danielle Haugland**  
(ダニエル ハウグランド)




①ELI  
②USA  
③Education opens the world. I look forward to supporting all of you as you work through it.

**Kathryn Yamagishi**  
(キャサリン ヤマギシ)




①ELI  
②New Zealand  
③Kiaora (Hello) Everyone, I'm very excited to be at KUIS and am really looking forward to meeting you all. I hope to help you make the most of your student life at KUIS.

**Mariia Melnikova**  
(マリア メルニコバ)




①ELI  
②Russia  
③Hello everyone! I hope your time at KUIS will be fruitful. See you around the campus!

**Rowena Marie Chua**  
(ロウエナ マリー チュア)



①ELI ②Philippine  
③Hello, everyone! Teaching English has been my passion for many years. I'm excited to share the Filipino culture with you all while learning more about English together.

**Kassim Samar**  
(カシム サマール)




①ELI  
②USA  
③I hope you meet people at KUIS who will open your minds to future possibilities and you grow to be the leaders of your own lives.

**Simon Bannister**  
(サイモン バニスター)



①ELI ②United Kingdom  
③Hello everyone! I'm Simon from Wales in the UK. I lived in Japan for 6 years, and I also lived in South Korea for 3 years. I'm into sports, music, fashion and movies, and I enjoy studying languages! I'm very happy teaching at KUIS, and if you have any questions or want to chat about anything then please let me know! Hope to see you around on campus!

**Travis Gasaway**  
(トラビス ガッサウェイ)




①ELI  
②USA  
③Focus on your dreams with joy and enthusiasm, and they will surely come true!

**Eduardo Castro Dos Santos Junior**  
(エドワルド カストロ ドス サントス ジュニオ)



①SALC  
②Brazil  
③Dear students, there are many opportunities for you learn languages at KUIS. Hope you enjoy them all! I'm looking forward to talking with you.

**生方 遥**  
(うぶかた はるか)



①SALC  
②Japan  
③Hi everyone. I am very much looking forward to meeting you all. Let's have fun learning languages together!

昇任			
外国語学部英米語学科	准教授	望月 尚子	
外国語学部英米語学科	准教授	小中原 麻友	
外国語学部アジア言語学科ベトナム語専攻	特任准教授	チャン・ジョン・ザン	
外国語学部アジア言語学科タイ語専攻	准教授	杉田 めぐみ	
外国語学部イベロアメリカ言語学科	准教授	藤村 朋子	
グローバル・リベラルアーツ学部グローバル・リベラルアーツ学科	教授	石井 雅章	
児童英語教育研究センター	准教授	河合 裕美	

退任			
大学院言語科学研究科	教授	長谷川 信子	
外国語学部英米語学科	語学専任講師	辻 るりこ	
外国語学部アジア言語学科中国語専攻	講師	及川 茜	
外国語学部アジア言語学科インドネシア語専攻	教授	皆川 厚一	
外国語学部国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻	教授	吉永 耕介 (2021年度 特任教授として在籍)	
外国語学部国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻	准教授	金 キョンファ	
外国語学部国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻	講師	塙 幸枝	
外国語学部イベロアメリカ言語学科	教授	青山 治城 (2021年度 特任教授として在籍)	
ELI	語学専任上級講師	ブレンダン・リンチ	
ELI	語学専任上級講師	マーティン・メリック	
ELI	語学専任上級講師	マシュー・ホルンズヘッド	
ELI	語学専任上級講師	ニコラス・ドリスコール	
ELI	語学専任上級講師	サミュエル・モリス	
ELI	語学専任上級講師	シャロン・サクダ	
ELI	語学専任講師	ダニエル・フーパー	
ELI	語学専任講師	クリスタル・ローズウェンストック	
ELI	語学専任講師	マーク・ピーティ	
SALC	講師・ラーニングアドバイザー	カーティス・エドリン	
言語教育コンサルタントセンター	上級講師	ジャレッド・バイアシュミット	
言語教育コンサルタントセンター	上級講師	ルシアス・ボンジョー	
言語教育コンサルタントセンター	上級講師	ロバート・ワーナー	

## 神田外語学院 (Kanda Institute of Foreign Languages)

**★神田外語いしず系会(本人・兄弟・姉妹)入学金返還制度あり**  
語学力と専門スキル、そして異文化を理解する心を持ち、世界各国で活躍できる人材を育成しています。空港や国内外のホテル、企業内英語関連部署、観光関連、児童英語教育の現場や国際ビジネスの世界で、6万人以上の卒業生が活躍しています。また、毎年多くの学生が神田外語大学へ編入学しています。


**【2年制課程】**  
英語専攻科、アジア/ヨーロッパ言語科(フランス語コース、スペイン語コース、中国語コース、韓国語コース、インドネシア語コース、ベトナム語コース、タイ語コース)、国際ビジネスキャリア科、児童英語教育科、国際エアライン科(キャビンアテンダントコース、グランドスタッフコース)、国際観光科、国際ホテル科、グローバルコミュニケーション科(アントレプレナーシップコース、国際協力コース)、留学科(海外大学3年次編入コース)

**【1年制課程】** 英語基礎養成科

お問い合わせ アドミッション&コミュニケーション部 ☎ 0120-815-864(フリーダイヤル)

## 英米語学科 学科長就任のご挨拶

外国語学部英米語学科 学科長 黒崎真



本年度より英米語学科学科長を拝命しました黒崎真と申します。私は2003年より本学で教鞭を執っています。専門分野はアメリカ史、アメリカ研究です。特に人種・エスニシティの問題を研究しています。本学は「外国語+α」の大学というイメージが強いと思います。これは、「+α」が何か付け足しということの意味するのでしょうか。もしそうだとしたら、このイメージ自体を変える必要があります。本学は、英語でKanda University of International Studiesと表記します。これは、本学が地域・国際社会(社会、文化、歴史、政治、経済など)を研究する大学でもあることを意味しています。そして、実際にそういう大学です。本学では、「地域・国際社会の研究」は「+α」であるどころか、「外国語」と同等の重要性を

持つ、いや「外国語」の学びと不可分のものです。本学に対する評価が「外国語+α」では、もったいないと感じます。「外国語+地域・国際社会の研究」へと変えていく努力をしたいと思います。英米語学科では、建学の理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」に基づき、英語必修科目と研究科目を有機的に結びつける仕組みを取り入れ、カリキュラムを編成して参りました。その狙いは、学生一人ひとりがグローバル社会を生きる「成熟した市民」として主体的に行動する力を養い、かつ日本語と英語の両言語でそうした力を発揮できるようになるところにあります。今後も、この目標に向けてカリキュラムの一層の充実化をめざして参ります。

## こどもが好き 英語が好きあなたに 児童英語指導のプロになる

J-SHINE® 認定資格取得講座

# 児童英語講師養成講座

### 10月生募集中

講座の4つの特長

- 1 子どもの言語習得理論やフォニックス指導、乳幼児～小学生への発達段階別指導など実践に即したノウハウを学習できる
- 2 授業欠席時の次回振替無料
- 3 指導現場や英語子育てに活用できる教材を使用
- 4 修了すると J-SHINE® 認定資格が取得できる! 講師として活躍中の講座卒業生多数

◆ J-SHINE® は NPO 小学校英語指導者認定協議会の登録商標です。

神田外語特典  
卒業生・在学生 受講料 319,000円 → 271,150円 15%OFF  
※5万円相当の教材費込/記載は税込価格

2021年10月コース  
【期間】 10/16(土)～12/11(土)【授業日】 水・金・土  
【会場】 神田外語学院 ※ 昼間/夜間クラスあり

対面式または Zoom で! **無料講座相談会実施中!**  
【対面式会場】 神田外語学院  
ご参加の方にはもちろん、指導用 SONG CD のお試版をプレゼント! ※対面式でご参加の方が対象

神田外語グループ ▼ お問い合わせ・資料請求・無料相談会のご予約▼  
神田外語キッズクラブ ☎ 0120-154-815 Instagram @kandagaigo\_kidsclub  
〒101-0047 東京都千代田区神田2-13-9 神田外語本部ビル4F(受付9:30～18:00/日祝除く)

## 2020年度 神田外語大学 外国語学部学位記授与式を挙行

3月20日(土)・21日(日)の2日にわたり、2020年度 学位記授与式が挙行された。入構時間の制限や式典を5部制にするなど、可能な限りの新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、本学のキャンパスにおいて実施された。



式典では宮内孝久学長より、4年間の努力の証である学位記が各学科の代表者に授与された。今年度は感染予防の観点から式典後に学内の各教室に分かれ、学科教員から在学生一人ひとりに学位記が授与された。学長式辞では「あらゆるモノゴトを徹底的に考えることを習慣化し、その真偽を見極めようとするれば、皆さんはCritical Thinker になれます。それにより、偏見や先入観から解放され、AIに支配されることもなく、環境の変化に対応しながら逞しく生きていけるのです」と、環境の変化に対応しながら逞しく生きる方法を伝授された。式辞の結びとして、「皆さんはまもなく、新しい世界へ一歩を踏み出します。人生の大いなる冒険を楽しんでください!」とメッセージが届けられた。

今年度は保護者等の入構を、卒業生ひとりにつき1名以内と制限したため、式典の様子はライブで動画配信された。当日の天候は芳しくなかったものの、感染予防対策をした学内は、晴れ着姿の卒業生や保護者によって華やかな雰囲気にも包まれ、

久しぶりに会う級友や、お世話になった教職員との別れを惜しむ姿が見られた。

卒業生、修了生の皆様が新しい舞台で大いにご活躍されることを、教職員一同、楽しみにしております。

令和二年度 神田外語大学 学位記授与式



4月1日(木)、2021年度神田外語大学入学式が、可能な限りの新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、幕張メッセにおいて執り行われた。



在学生の田村悠人さん(ブラジル・ポルトガル専攻4年生)と浮田響さん(インドネシア語専攻4年生)の司会により、日本語と専攻語の両方によって進行された。また、新入生を代表して幸田健吾さん(英米語学科1年生)より「新入生宣誓」が高らかに読み上げられた。それに応じ、各学科・専攻代表の在学生からは各専攻言語で歓迎の言葉が贈られた。

## 2021年度入学式を挙行

午後からは、同会場において、新入生を対象に学友会ガイダンスを実施した。授業以外の学び・交流の場として、在学生からパフォーマンスが披露された。また、学友会ガイダンスと並行して、学内において保護者懇談会を実施した。



保護者懇談会では学科ごとに会場を分け、教職員から教育方針や留学、キャリア教育・支援についての説明があった。懇談会終了後は、語学学習施設を中心に各施設を開放し、キャンパスの見学会を行った。

## 2021年4月に学内施設をリニューアル

### 1 大学院 言語科学研究科

3号館2階のGLA Commons開設にともない、大学院 言語科学研究科を4号館3階に移転し、新たなスタートを切った。知的で落ち着いた雰囲気の外観の奥には開放的な空間が広がり、より一層、教員と学生がコミュニケーションを取りやすい環境となった。また、資料室が同じエリアに設置されたことで利便性も高まり、大学院生からも好評を得ている。



### 2 1号館のトイレを改修。

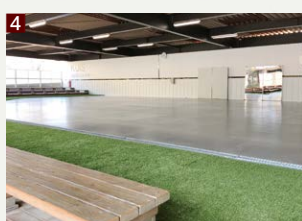
### 3 3号館2階にテラスを設置。

### 4 ダンススクエアの床を改修。

人工芝と照明を設置。

### 5 2号館1階、3号館2階、4号館2階、

5号館1階、体育館1階に浄水器を設置。



## 神田外語大学LINE公式アカウント 開設のお知らせ

神田外語大学は、LINE公式アカウントを開設しました。  
受験生に役立つ情報がすぐ見られる。  
ぜひ、友達になってチェックしてみてください。

進路選択の役立つ情報を見つけよう

見やすく使いやすい  
デザインメニュー

新着情報が優先的に  
あなたのもとに届く

興味関心設定を行うことで、  
あなたが欲しい情報を提供

【学科・専攻診断】で  
あなたにオススメの学科が  
見つかるかも!!

神田外語大学の 特徴	動画で見る 神田外語大学	学部・学科診断
まずはチェック	学生ライフご紹介	海外のイメージから 見つける
学部・学科紹介	イベント情報	あなたの 興味関心を設定
KUISでの学びが分かる	受験生向け情報は コチラ!	

## お問い合わせ一覧 各部署へ直接お問い合わせください。

### 受付時間

平日 9時00分～11時10分  
12時10分～17時15分  
土曜日 9時00分～11時30分

※8月6日(金)から8月20日(金)は、夏季休業期間とさせていただきます。  
※状況により、受付時間が変更となる場合があります。

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
科目履修、成績	教務部	043-273-1320
留学	国際戦略部	043-273-1615
学生生活や奨学金、 各種証明書	学生支援部	043-273-2948
就職、進路	キャリア教育部	043-273-1598

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
学生相談、 カウンセリング	メディカルセンター	043-273-1495
授業料の納入	総務部	043-273-1322
図書館の利用	図書館	043-273-1192
入試、イベント	アドミッション& コミュニケーション部	043-273-2826